

整理番号	20	議員名	平沼 昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	【戦没者追悼式の在り方について】 福島町では297名の方が戦死されている。戦没者追悼式については、年々遺族の方々が高齢化し遺族会が解散、参加者が激減し式の維持が難しくなっている中で、これからは遺族・関係者だけでなく町民全体に参加を周知し、町内では戦争でこれだけの方々が犠牲になったことを知らしめ、町全体で戦没者を追悼する方向で事業の転換を考えていかなければ、戦没者に対する敬意が薄らいでくると思うが、町長の考えを聞きたい。				
取り組み状況	今年度の戦没者追悼式の実施にあたり、遺族並びに社会福祉協議会と意見交換をしているところですが、今後の追悼式の在り方についても引き続き協議してまいります。また、今年度は、町広報に追悼式の開催案内を掲載するなど一般の方が参列できるよう周知に努めてまいります。				

整理番号	21	議員名	平沼 昌平	対応・進捗状況	対応中
質問要旨	【高齢者福祉関連事業を一つにまとめ展開を理解しやすくする検討を】 高齢者福祉に関連した様々な予算、事業がある中で四季を通じて見守る組織作りがこれから我々の町としてもっとも必要なことと考えます。 内容はそれぞれあるが、考え方の根幹は同じだと思う、四季を通して高齢者がどういう状況でどうしてもraitたいのか、情報をいち早く得ることと、特に冬期間に町内の事業者、次世代を担う若い方々の雇用の場の創出を考え、組織編成し、意見を聞きながら高齢者に向けたサポート事業の展開をなされた方が良いと思うが町長のお考えを伺いたい。				
取り組み状況	社会福祉協議会とも高齢者対策について随時意見交換をしているところです。冬場の除雪対策が一番心配ごとであることは確認しております。 そのため高齢者世帯の訪問実施時にあわせ、町及び社協事業で実施している除雪助成制度の周知を図るとともに、高齢者のニーズを聞き取りながら、関係団体とも情報共有し、今後も、将来に向けた高齢者福祉対策について引き続き協議してまいります。				



タウン情報



▲長崎県松浦市派遣職員の永田さんも参加しました



▲整備後の花壇

青函トンネル記念館前 花壇整備

6月21日（水）、今年も函館開発建設部と地元団体が協力して行う「ボランティア・サポート・プログラム」が行われました。この活動は、町内の施設前や道路に花を植え、環境美化を行う活動です。

今回は青函トンネル記念館前の花壇に2千400株の花を植えるもので、ボランティアサークルひまわり会の協力のもと、色とりどりの花で花壇が埋め尽くされました。

毎年、来館者や町民の方々にも大好評となっております。花や緑の溢れるまちづくりにご協力いただきありがとうございます。